

術後心房細動に対するビソノテープ®の有効性と安全性に関する検討

1. 研究の対象

2013年9月～2017年12月に当院で術後心房細動を認めた方

2. 研究目的・方法

術後心房細動は術後管理の複雑化、血行動態の不安定化、ICU 滞在を含む入院期間の延長、脳梗塞などの周術期合併症、治療費用の高額化、長期予後の悪化といった様々な不利益を引き起こします。本研究では、当院において全身麻酔下に手術を受けられ術後心房細動を発症した方を対象とし、ビソノテープの有効性と安全性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、投薬歴、カルテ番号、血液検査、心電図、心エコー 等

試料：使用しません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 安居 琢

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田 雅史

以上